

ダイナミックマッププラットフォーム、技術コラムを公開  
～AI向けデータ提供を成長領域へ～AIネイティブデータセット開発の進捗と構想～

自動運転地図のダイナミックマッププラットフォーム株式会社(本社:東京都渋谷区、代表取締役社長 CEO: 吉村 修一、以下「当社」)は、当社コーポレートサイトの COLUMN ページに「**【技術コラム】 AI向けデータ提供を成長領域へ～高精度3次元データを活用したAIネイティブデータセット開発の進捗と構想**」を新たに掲載しました。

- URL: <https://www.dynamic-maps.co.jp/column/column-1413/>



現在の自動運転技術開発においてはAI利用が当たり前となり、「どれだけリアルなデータで検証できるか」つまり「どれだけSim-to-Realのギャップを埋められるか」が開発スピードと品質を大きく左右する時代に入っています。実際、当社の高精度3次元データに関するお問い合わせにおいても、AIモデル開発やシミュレーション環境下での評価を目的としたものが急速に増えてきました。

このような背景のもと、当社ではお客様が即時利用なAIネイティブデータを整備すべく、長年蓄積してきた高精度3次元データ資産を活用した新商品の開発を進めています。本コラムでは、当社のAI向けデータセット開発の進捗と構想について執行役員 テクノロジー統括の福田 譲が解説しています。

ぜひご覧ください。

■本件に関する問い合わせ

ダイナミックマッププラットフォーム株式会社

メール：[ir@dynamic-maps.co.jp](mailto:ir@dynamic-maps.co.jp)

HP：<https://www.dynamic-maps.co.jp/>